

全国地理教育学会 第15回地理教育基礎巡検のお知らせ（実施要項）

テーマ：南千住・山谷・三ノ輪・吉原地域における地歴連携の視点も取り入れた地理教育基礎巡検

—江戸時代からの地域的変貌と現在の地域的特色を探る—

主旨：今回の巡検では、東京都荒川区から台東区にまたがる南千住・山谷・三ノ輪・吉原地域を巡る。地形的にはほとんどが海拔1.5～2mの隅田川の沖積平野の氾濫原もしくは三角州からなる低地で、起伏はほとんどみられない。この地域は、江戸期には基本的に田地であったが、日光街道や奥州街道裏道（現：金杉通り）が通じ、江戸の市街地の拡大とともに、江戸（特に浅草）の郊外地域を形成していった。江戸前期には日本堤・山谷堀が設けられ、日本橋より移転してきた遊郭「吉原」も設置された。また、江戸期の身分制度社会において蔑視されていた人々、および遊民や乞食のような「貧民」が多く住み着いた地域でもある。身分制度が廃止された明治以降の社会的混乱のなかで、東京市中にいわゆる「貧民街」が各地に形成され、なかでも南千住駅に近い山谷地区には巨大な「ドヤ街」が形成された。一方、明治から昭和初期には、陸上・水上交通網の整備等を背景に、紡績業などの大工場が進出し、市街地化が急速に進み、商店街も形成されていった。現在ではこのような地域的性格も大きく変わり、中高層建築物が目立つなど都市景観も大きく変貌し、平成以降に成立した再開発地区もみられる。そこで、本巡検では江戸時代以降の歴史的な視点も取り入れつつ、この地域における地域的特色とその変貌を考察する。

日程：2016年10月9日（日）10：00～16：00

集合：JR常磐線南千住駅改札口 9：50（10：00出発）

東京メトロ日比谷線南千住駅からは北口、つくばエクスプレス南千住駅からは地上改札が便利です。

解散：東武伊勢崎線（スカイツリーライン）浅草駅南口広場前 16：00

参加費：300円（資料代）

案内：天野 秀彦（サレジオ学院中学校高等学校・非、本学会巡検委員会委員）

巡検の視点

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| (1) 対象地域の自然環境と治水・利水対策 | (2) 対象地域の交通・輸送網の変化と連結 |
| (3) 江戸時代における対象地域の地域的特色 | (4) 明治・大正期における工業の発展と対象地域の市街地の拡大 |
| (5) 台東区山谷地区における変貌と現状 | (6) 荒川区三ノ輪地区における近隣住民の生活と商店街の形成 |
| (7) 台東区旧吉原遊郭における変貌と現状 | |

巡検コース概要

JR南千住駅 ⇒ 小塚原回向院 ⇒ 延命寺（小塚原処刑場跡） ⇒ 南千住駅南口歩道橋（隅田川貨物駅や荒川区汐入地区の再開発地区を眺める） ⇒ 山谷地区（泪橋・平賀源内墓所・山谷労働者福祉会館・城北福祉センター） ⇒ 思川暗渠（台東区と荒川区との区境、明治通りなどを西進） ⇒ 三ノ輪地区（浄閑寺・旧日本堤の北端・三ノ輪橋・三ノ輪橋商店街・目黄不動） ⇒ 土手通り（日本堤跡） ⇒ 吉原遊郭跡（見返り柳・大門跡・「おはぐろどぶ」と盛り土で構成された跡地の景観・吉原神社・車善七屋敷跡） ⇒ 山谷堀公園（日本堤跡） ⇒ 都立浅草高等学校（弾左右衛門屋敷跡） ⇒ 今戸神社 ⇒ 本龍寺 ⇒ 待乳山聖天 ⇒ 花川戸地区（靴・祭事用具問屋街） ⇒ 東武浅草駅
（コースについては、今後現地の事情等によって変更する場合があります。）

※本巡検終了後、反省会を兼ねた懇親会を予定しています。参加を申し込まれる方は、2016年9月30日（金）までに、巡検委員会の下記アドレスに、(1) 巡検のみ参加、(2) 巡検・懇親会とも参加、を明記のうえご連絡ください。また、巡検に関する問合せも、下記アドレスをご利用ください。会員・非会員、地理プロパー・非プロパーを問わず、ご参加をお待ちしております。なお、参加費は当日集めます。懇親会の会場は未定、費用は4,500円前後を予定しています。

『全国地理教育学会巡検委員会メールアドレス：(e-mail: junken@jageoedu.jp)』